

「膵頭十二指腸切除後の魚骨迷入に対する後ろ向き観察研究」に関する情報公開

1. 研究の対象

当院で2000年10月30日から2020年10月30日の間に撮影された腹部CTのうち、膵頭十二指腸切除術後に魚骨迷入を指摘された方。

2. 研究目的・方法・研究期間

本研究は、既存の診療情報を用いた単施設の観察研究です。2000年以降に当院で膵頭十二指腸切除後にCTで魚骨が迷入したと診断された方を対象に、自然経過や治療介入の有無によるその後の経過について検討を行います。研究期間は実施承認日～2021年10月30日までを予定しています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

膵頭十二指腸切除後の魚骨迷入患者さんのカルテ上のデータを、パソコンを用いて統計学的に調べます。年齢、性別、基礎疾患、手術日、術式、魚骨発見までの期間、魚骨の位置、症状の有無、治療方針、転帰について調べます。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合は研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学大学院医学系研究科 消化器内科学

大学院生 高田善久

〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町 65

Tel/Fax : 052-744-2602

研究代表者・責任者：名古屋大学大学院医学系研究科 消化器内科学 助教 石川卓哉

苦情の受付先：

名古屋大学医学部経営企画課 臨床審査公正係 (052-744-2479)